

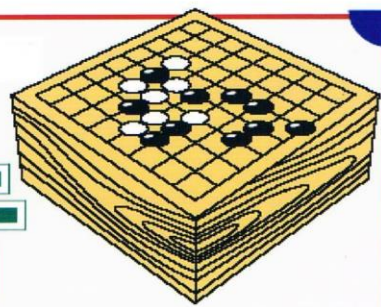
会報 第11号 平成22年11月25日

栄区囲碁ファンにおくる囲碁情報紙

さかえの石音

いしおと

栄区囲碁普及会（協力・栄区囲碁連盟、日本棋院横浜栄支部）



◆2010 栄区秋の芸術祭・区民囲碁まつり／11月3日（祝日）・栄公会堂、本郷地区センター

囲碁まつり 園児から90代まで150名が集い楽しむ

年々囲碁人口が増えている栄区。今年は入門・初級クラス（13路盤）の参加もあり過去最多、会場も栄公会堂と本郷地区センターに分かれて開催された。

大会のほかに、熊丰六段、下坂美織初段の両プロ棋士による指導碁や大盤解説があり、囲碁ファンにとって充実した楽しい一日だった。右の写真はプロ棋士2人を囲んで、3戦全勝して表彰された人たちの喜びの顔。



▲指導碁も人気、希望者が多数で抽選に。大盤解説も好評

▼「次の一手」を真剣に考える顔、顔、顔



- A グループ（四段以上）：瀬村宇信、加藤忠孝
- B グループ（三～二段）：樋口喬之、白土豊、木村弘利、興野富男、高橋定夫
- C グループ（初段～一級）：小田武史、佐野征啓、千速哲、小田桐清、吉成智明
- D グループ（2～10級）：権正茂、嶋田静子、金子進
- E グループ（11～18級）：古川碧、川上直生
- 学生特別賞：田中稜士
- 初級クラス：興石衛、高山浩一

◆12月23日（祝）アースプラザで日本棋院公認段級位認定大会・親子囲碁教室・指導碁・大盤解説を開催 日本棋院・横浜栄支部、大幅会員増で来年もプロ3名を招聘

栄支部は平成22年度の支部会員数全国12位（135名）、会員増5位（29名）にランクされ昨年に続いて3名のプロ棋士を栄区に招聘できることになった。



熊丰六段



矢代久美子五段

12月23日は熊、矢代両プロを囲んでの囲碁イベントを実施！

■日本棋院公認・段級位認定大会（9:00～15:30）

*参加費：大人2000円、子供1000円（弁当、お茶付です）
*認定：二段・初段・各級位戦を実施 *締切り：12月15日（先着順） *申込先：栄支部植田／TEL&FAX:045-892-6166

■プロ棋士による親子教室（10:00～12:00）

初心者大歓迎！お子様と一緒に囲碁を楽しみませんか？

*募集数：15組（30名）先着順 *参加費：無料
*申込先：栄支部 道休／TEL&FAX:045-892-5535

■熊プロ、矢代プロによる指導碁（10:30～、13:00～）

*募集人員：先着15名（支部会員無料、一般希望者500円）

新聞紙上で報道された『栄区囲碁普及会』の活動

神奈川新聞 7月29日の掲載記事です。88名の栄区囲碁ボランティアの皆さん、日頃の地道な活動ご苦労様！

2010年(平成22年)7月29日 木曜日 A版 社会 (26)

横浜市内で囲碁の愛好者が増えている。その推進力となっているのが区内に住むアマ有段者の有志が集う「栄区囲碁普及会」(杉浦次利会長)だ。現在の登録会員は88人。一つの市区町村で、普及活動を目的としたこれほど大規模な市民団体は「全国でもあまり例がない」と日本棋院普及事業部は驚く。(山本 正)

囲碁王国へ 厚い布石へ

愛好者増へ活躍

二人でも多くの人に教えたいというのが生きがいで、谷通晃君(5級、横浜市立桜井小6年)は、小学一年生(7歳)のころに学校のキッズクラブで普及会のインストラクターから碁を教わり、「面白くて、楽しかったので教室に通うようになった」という。「石を取るのが楽しい。お父さんにはいつも勝っています」と話していた。

審判長を務めた日本棋院区対抗戦の区民大会では、横浜支部長の肥塚淳次さんは、「これからまだまだ参加者の増加が予想されますが、区内に大きな施設がないので躊躇っています」と笑っていました。

年2回行われる横浜市内各区対抗戦の区民大会では、普及会の教室は着実に増えています。普及会では、普及会の教室で学んだ級位者が対象としたC・Dクラスの出場者が少なく頭を痛めている区が多いが、栄区は毎回40〜50人が参加し盛況だ。

7月19日には、栄区の普及会が毎年主催する「第6回栄区子ども囲碁大会」が栄公会堂で開かれた。同区の在住・在学・在勤者、普及会の教室で学んだ級位者が対象。棋力別4クラスに分かれて4回戦対戦し、成績により棋力対戦が認定されるが、役員を兼ねて100人が参加するにきわむけ、女性十数人も交わらせた。やかな勢囲碁が熱心に取り組む、3世代が交流する和やかな雰囲気の中で、生徒の打ち手を熱心に見守るインストラクターの姿が、親子で囲碁の楽しさを味わっている。

栄区普及会会員

普及会は、囲碁を通して子どもたちの育成や抱病者への健康維持を図ろうと、2001年に設立された。会員たちは、年々増加の傾向にある。普及会の教室は、交通費などの諸経費も自前というボランティア。区内の6小学校と、地区センターなどの公共施設7カ所が入門・初心者教室を開いて、定期的なレッスンを行っている。定期的なレッスン版の会報「さかえの石」を刊行し、教室で学ぶ子どもたちの楽しそうな様子などが紹介されている。

「自分がただ楽しむだけでなく、囲碁の素晴らしさを伝えることが、



園児から80歳まで、選手と役員を含めて約100人が参加した第6回栄区子どもとおとなの囲碁大会。19日、栄公会堂。

「普及に大きな一手」と『週間碁』でも紹介！
 栄子どもとおとなの囲碁大会が「級位者世代交流」(平成17年7月25日号)と紹介されて以来今回で2度目。年々参加者も増えて大きな大会に成長し、囲碁ボランティアにとっても喜びと共に今後の普及活動に力がある。

◆ 囲碁クラブ訪問② 栄区碁会の古参・設立以来27年！棋楽会(本郷台自治会)

本郷台自治会の文化活動の一つとして、1983年(昭和58年)7月に設立され、今日まで27年の歴史を誇っている。会員数は現在34名で自治会館に第1,2,3の日曜日の12時半から17時半まで集い棋楽会の名称通り囲碁を楽しんでいる。また希望者には高段者による指導碁も随時行っている。行事も年2回、5ヶ月かけて行われる総当りのリーグ戦、和気あいあいの1泊囲碁旅行、他町内会との三町合同囲碁大会(2回/年)など多彩。囲碁連盟主催の地域交流囲碁大会にもチームワークよく毎回積極的に参加している。



(右の写真は今年の出場者達)。
 会長：野口猛彦六段 年会費：6000円
 問合せ先：野口猛彦 TEL&FAX：045-892-7134

【編集後記】速報！「栄区秋の芸術祭・囲碁まつり」特集号をお届けします。栄区におなじみの熊六段、人気の新進女流プロ下坂初段を招いての指導碁や大盤解説などもあり大盛況でしたが、運営された囲碁連盟、協力された普及会の皆さん、ご苦労様でした。

さて次号では、栄区囲碁ファンが選んだ『栄区囲碁十大ニュース』を企画します。あなたにとっての重大

ニュースをいくつでも結構ですから、順番に並べて下記編集委員長・道休宛にハガキかFAXでお送り下さい。なお電話など連絡先をお願いします。

◆編集委員長：道休俊和 TEL&FAX：892-5535
 〒247-0008 栄区本郷台5-31-17(締切り12月末)

◆編集委員：橋本侃、牧野博、山中正巳、小田武史
 ◆発行者：杉浦次利(栄区囲碁普及会々長)